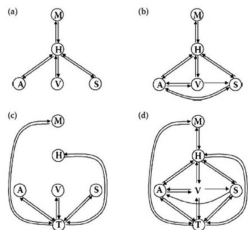


多感覚統合と行為の空間



09:20- 認知の樹 (映像)

09:30-10:40

講義1) 認知神経理論: 認知運動療法 (ETC) から行為間比較 (CTA) への変遷 (園田)

- ① 「行為」の条件と「行為間比較」の条件
- ② 「比較」と「関連付け」による情報統合の必要性の探索
- ③ 行為における「三人称的認知」と「一人称的認知」

10:50-12:20

講義2) 行為の空間と記憶～多感覚統合の神経科学 (森岡)

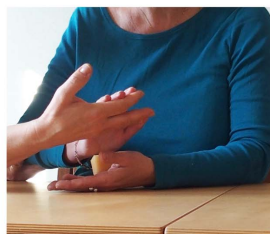
- ① 「時間的・空間的多感覚統合」と「身体意識 (身体所有感・運動主体感)」
- ② 「行為の記憶/想起/空間」の神経表象
- ③ 「比較器官」としての脳

12:30-13:00

ディスカッション: 行為間比較における用語の意味と用法 (内倉・全講師)

- ① 行為における認知過程/情報メカニズム/表象に関わる用語
- ② 行為の全体性/拡張性/複合性に関わる用語
- ③ 行為間比較における観察/訓練/リハビリテーションカルテに関わる用語

行為間比較のプロトコル



14:00-15:00

講義3) 観察から改善すべき行為の選択まで (平谷)

- ① 行為間比較における「リハビリテーションカルテ」
- ② 「観察」「訓練」「最終評価」の各部分の意味と臨床思考プロセス
- ③ 「自発的行為」「要求された行為」「報告された行為」の観察と難易度

15:00-16:00

演習1) グループワーク: 評価的訓練と行為の観察 (園田・平谷・全講師)

- ① 症例 (video) を通した観察のプロフィールの作成
- ② 「行為の観察と比較」「予測要素」「改善対象として選択した現在の行為」
- ③ 「何を」、「どのように」観察するか

16:10-17:10

講義4) 観察における比較の目的と行為の改善可能性の検討 (平谷)

- ① 観察における比較: 「損傷前の行為のイメージ」「第三者行為の観察」「健側」・・・
- ② 自覚の改善と行為の改善可能性
- ③ 「行為のコンテンツ」の抽出と解説

17:10-18:30

演習2) グループワーク: 行為間の比較と行為のコンテンツの分析 (内倉・田淵・全講師)

- ① 症例 (video) を通した行為のコンテンツの分析
- ② 観察における各行為間の比較の実践
- ③ 「どのように」改善すべき行為を選択するか

選択した行為の改善に有効な訓練の構築と実践



09:20-10:20

講義5) 訓練の選択から最終評価における検証まで (内倉)

- ① 「訓練の名称」「訓練のテーマ」「訓練のコンテンツ」
- ② 「関連性 (類似と差異)」の探索と行為の改善のための統合と拡張
- ③ 「訓練のコンテンツ」の抽出と解説

10:30-11:30

演習3) グループワーク: 各行為間の比較と訓練のコンテンツの分析 (内倉・全講師)

- ① 症例 (video) を通した訓練のコンテンツの分析
- ② 訓練における各行為間の比較の実践
- ③ 「どのように」訓練を選択するか

11:40-12:30

ディスカッション: 行為間比較の実践に向けて (園田・全講師)

- ① 行為間比較における要点の整理と質疑
- ② 整合性のある行為の回復のための「行為間比較の構造」
- ③ 「現在の行為の自覚」「未来の行為への自律」「訓練目的の共有」

行為システムにおける両手の行為



13:20-14:10

講義6) 両手の行為の神経科学 (八坂)

- ① 行為空間の中心性の構築
- ② 左右半球間の統合的活動と情報モダリティの整合性
- ③ 中枢神経系の選択能力としての両手の行為の創発特性

14:20-15:20

講義7) 両手の行為の情報メカニズム (園田)

- ① 行為の意図・予期・志向性の理解のための両手の行為
- ② 両手でなければ構築されない情報とは何か
- ③ 両手と身体と外部世界の相互作用

15:20-16:20

演習4) グループワーク: 両手の行為の回復に向けた訓練 (園田・平谷・全講師)

- ① 両手間の空間関係および対象物との空間関係, 三次元性, 複数の空間の関係性
- ② 両手における接触の広さ, 接触による対象の連続性
- ③ 両手の必要性, 同時性, 相互性, バランス

16:20- 認知の樹 (映像)

終了